

# 大潮だより

# まる 円山 やま

第16号

発行年月日  
平成23年6月1日

発行者  
大潮の里を守る会



花植えと看板建てをしました。

大潮の里をまもる会では、去る3月12日に大潮地区にある寺社などへの案内看板建てと、ヒガンバナの植え付け作業をしました。

当日は大潮ファンクラブの会員さんや他出後継者の皆さんへも呼びかけ、参加いただいた13名の方達と、地元関係者合わせて55名の大人数での作業でした。

看板建ては男性の仕事で、二手に分かれて各集落1カ所あて、かねて作成しておいたものを午前中に建て終えました。

花植えは午前中女性のみなさんでしたが、午後は男性も一緒に片山と戸根の国道や市道の法面に植えつけました。

今年度も残された各集落の希望の場所に植え付けることにしています。

また、看板も各集落で選定した場所へ3カ所、毎年1カ所ずつ建てる計画です。

大潮の環境美化と見どころへの案内看板ができることで、訪れる人の増加と、地域に住む人の自信につながればと思います。

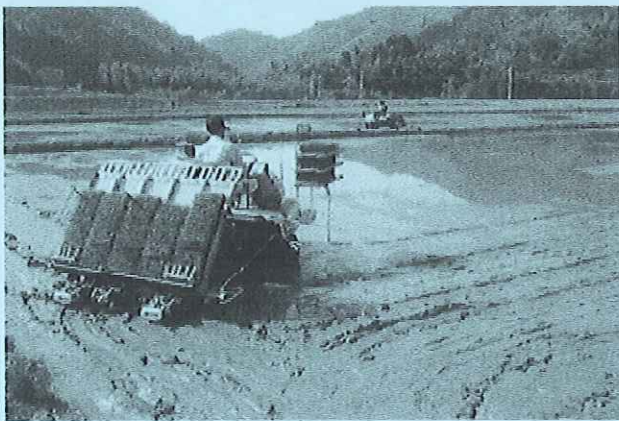
# 大潮の地域づくりビジョン 解説 行動計画

2年目を迎えた大潮の里をまもる会の活動も、多くの皆様のご協力により、着実な歩みを進めています。前回に引き続き「大潮の美しい自然や伝統を守り、安心して住み続けられる地域づくり」を進める活動目標である大潮ビジョンについて、残りの3項目の行動計画についてお知らせします。

4 農地を守る営農のしくみをつくろうでは、豊かな自然環境の中、美味しいお米が収穫できていますが、高齢化により農業の継続が困難な状況になりつつあります。

今後も農地を守り、美味しい米づくりを続けるためには、営農の仕組みづくりが大切であることから、次のような活動をします。

- ①協同運営する組織づくり（法人化）をしよう。
- ②後継者が参加しやすい魅力的なしくみをつくろう
- ③他出者の力を借り、保全サポーターなどのしくみをつくろう。
- ④大潮の特産品を作り、販売していこう。
- ⑤鳥獣害対策をしていこう。



5 施設を有効活用して地域を活性化しようでは、地域内に多くの方が集うさまざまな施設がありますが、これらを有効活用して、元気な大潮づくりにつとめます。

- ①大潮小学校を活用していこう（交流の拠点、宿泊場所、営農の拠点、公園）
- ②大潮田舎の店を消費者との交流拠点、地域に貢献できる場として活かしていこう。
- ③大潮田舎の店の直売や加工を、地域を挙げてのビジネスにしていこう。
- ④空き家を活用していこう。

6 地域の資源を活用し、地域の方が活躍できる交流活動をしていこうでは、豊かな自然の中、人情豊かな人々の生活と、昔から伝えられている技や伝統があります。こうした有形無形の資源を活かした活動を進めます。

- ①農地を活かした交流を進めよう。（貸し農園



や棚田オーナー制、ミニふれあい交流)

- ②大潮の自然を活かした交流をしていこう。（清流、山菜摘み、雪）
- ③大潮のファンを増やし、自然や環境を守る活動に参加してもらおう。
- ④大潮のみんなが集える賑わいをつくろう。（ホタルまつり、ルーラルフェスタ、感謝祭、泥落とし）
- ⑤都市の子ども達に田舎体験学習をさせよう。
- ⑥野菜や米づくり、加工の技術、昔の遊び等、人の技が活かせる交流を進めよう。（ルーラルガイドになろう）



大潮の里をまもる会では2回にわたりお知らせした6つの活動項目の実現に取り組みます。

この会が発足して1年が経過しましたが、農事組合法人「ファーム大潮」の設立や、大潮ファンクラブ・他出後継者の皆様のご協力をいただき、地域の看板づくりや景観づくりの作業も実施するなど、具体的な取り組みも始まっています。

「地域づくりは、それぞれの思いを実現できる場」です。

大潮に住む人は勿論のこと、多くの皆さんが大潮づくりにご参加くださるようお願いいたします。

# 大潮の里をまもる会 23年度総会を開催



5月29日、旧大潮小学校講堂で、平成23年度の大潮の里をまもる会の総会を開きました。

総会では平成22年度に実施した事業や収支決算の報告、平成23年度の事業計画や収支予算が審議され、全ての議案が承認されました。

また、総会終了後、来賓や大潮ファンクラブ会員、他出後継者を交えての交流会を開き、これからの大潮の里づくりについて、意見交換をしました。

## ○ 平成22年度に取り組んだ主な事業

- 3月 大潮の里をまもる会設立総会
  - 4月 代掻き水の流出の注意喚起
  - 6月 錦川源流大潮ホテルまつり
  - 7月 夏の交流イベント（子ども田舎体験）
  - 8月 先進地視察（岩国市府谷・まごころの里）
  - 9月 会員参加呼びかけ調査
  - 10月 大潮の魅力発見検討会（3回開催）
  - 11月 ルーラルフェスタ
  - 1月 大潮地域の看板づくり
  - 3月 環境整備作業（看板設置・ヒガンバナ植付）
- 年間を通じて取り組んだ事業  
営農組織 法人の検討と設立  
貸し農園の実施「大潮体験農園」

## □ 平成22年度の収支決算

収入総額 3, 124, 939円  
支出総額 2, 439, 893円

## ○ 平成23年度に取り組む主な事業

- 4月 代掻き水の流出の注意喚起
  - 5月 大潮の里をまもる会総会および交流会
  - 6月 錦川源流大潮ホテルまつり
  - 7月 夏の交流イベント（子ども田舎体験）  
国道沿線草刈り
  - 8月 先進地視察研修
  - 9月 ヒガンバナまつり
  - 11月 ルーラルフェスタ
  - 3月 環境整備作業（看板設置、ヒガンバナ植付け）
- 年間を通じて取り組む事業  
景観整備作業（2年目計画）  
旧大潮小学校活用の検討と試行  
いきいきサロン増設の検討  
福祉弁当の検討と試行 等

## □ 平成23年度の収支予算総額

3, 636, 000円

「いのち育む里づくり」とは何ですか？

Q テレビや新聞などでよく「いのち育む里づくり」と言う言葉を聴きますが、何のことで、大潮にも関係するのですか。

A 周南市では、面積の7割を占める中山間地域を、市民のいのちを守り、育む、かけがいのない財産であることから「いのち育む里」と名付けています。

「いのち育む里」の範囲は、中山間地域である鹿野を含め11地区あり、大潮もその中に入っています。

これらの地域の資源を生かした環境づくりをおこない、生活環境や産業基盤を整備し、安心して誇りを持って暮らせる地域づくりを進めるのが「いのち育む里づくり」といいます。

大潮に住んでいる私たちも、地域のみんで協働して、人・自然・経済が循環する活力あふれる大潮の里づくりに取り組みましょう。



# お達者さん紹介 原田チエ子さん

周南市桶山

今回は満80歳を迎えられた桶山の原田チエ子さんを訪ねました。原田さんは自転車に乗って買い物へ行かれたり、近所へ回覧板を届けるなど、お元気に活躍されています。畑には色々な野菜が立派に出来ていて手入れが行き届いていることがうかがえます。また、花づくりもお好きだとか、家の周りにはきれいな花が沢山咲いていました。そのうえ、ほけ防止にと「きめこみ」という手芸を習っておられ、立派な作品を何点か見せていただきましたが、今年度は卯年なので写真に見えますように、ウサギを主体に作品を作っていました。とにかく元気に活躍しておられ、80にしてなお現役で働いていらっしゃるのには感服しました。お身体をご大切にいつまでもお元気でいてください。

## 寄稿

# 近くて遠い大潮

周南市鹿野上  
森弘茂生さん



片山での生活より、いつの間にか大地庵の生活が長くなり、墓参りや少しの草刈りに帰るくらいで、近くて遠い大潮になっているこの頃です。

先日、大潮小学校で一緒に過ごした友人と、大潮の懐かしい話、円山や学校のことで盛り上がったあと、昭和38年の国体で拒火リレーをした時の写真を送ってきてくれました。

誇らしげに写っている自分の姿を見てびっくりすると同時に、懐かしさが込み上げてきました。

そして、今年は48年ぶりに山口県で国体が開かれますが、鹿野でもハンドボール競技がおこなわれ、その国体のお手伝いをする自分がいると思うと少々不思議な感じがしています。

全国的に地域づくりが大変なときに、「大潮の里をまもる会」の発足や、「地域情報誌」の発行、「ホタルまつり」の開催など、色々な行事への取り組みを行い、情報を発信し、活躍されている大潮の皆さんが頼もしい限りです。

行政マンとして、地域を守り、地域の発展に少しでもお手伝いできればと思っています。

本当に近くて遠い大潮ですが、我が家があった所から、向かいの山並みを見るとほっとします。母の暖かさを感じます。

### 農事組合法人

#### 「ファーム大潮」発足

1月9日、農事組合法人「ファーム大潮」の設立総会が開かれ、大潮地区で初の農事組合が誕生しました。

ファーム大潮では高齢化が進む中で耕作放棄地が発生しないように農家の田んぼを預かり農業経営したり、農作業の受託するなど、大潮の農地を守りながら、効率的な農業を進めることを主な目標にしています。

#### 今年もホタルまつりが近づきました

入梅とともにホタルの飛び交う季節になります。恒例となりました大潮ホタルまつりを楽しまにされている方も沢山あるようですが、今年6月18日の土曜日18時から例年のように旧大潮小学校グラウンドで開催します。

舞踊やカラオケのご自慢、原たかしショーも予定しています。バザーも例年通りおこないます。準備などへ皆さまの協力をお願いいたします。

### 福祉講演会のお知らせ

桶山と片山のいきいきサロン主催による「紙芝居とお話の福祉講演会」が次のとおり開催されます。

日時 8月20日午後2時から  
場所 旧大潮小学校講堂  
講師 逆井 歌代先生

逆井先生は旧大潮小学校の教頭として3年間教鞭をとられ、私たちも大変お世話になった方ですが、現在も県内各地の福祉講演などで活躍されています。沢山の方のご聴講をお待ちしています。

### 編集後記

3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の大被害をもたらし、2万5千人を超す死者行方不明者を出しました。山口県は比較的地震は少ないと言われますが、今回のように想定外のこともあり得ますし、台風等の災害も想定されます。

「備えあれば憂いなし」、大事なことです。